

香港中文大学インターナショナルサマースクール 体験談



E 類多文化共生教育コース 渡辺しずか

留学時の学年：1年

期間：2019年8月4日～8月24日

参加した理由

長い夏休みを無駄にしないために大学生のうちにできることをしたいと思い、短期留学をすることにしました。また第二外国語で選択した中国語をもっと使えるようになりたいと考え、中国語圏に行き先を決めました。そして、費用が安く、できるだけ期間が長いプログラムという条件に合ったため、香港中文大学のサマープログラムに参加することにしました。

学校生活

月曜日から金曜日は午前と午後1つずつ中国語（普通話）の授業を受けました。授業はそれぞれ文法やスピーキングが中心でした。授業の中で一番気を付けたことは発音です。少人数で授業を受けるため、発表する機会も多く、発表のたびに先生が発音を直してくださいました。中国語は発音がとても大事なのでネイティブの先生にきちんと指導してもらえ、良い機会になりました。放課後には香港の文化を体験できるコースが設けられていました。私は麻婆豆腐作りに参加しました。他にも書道体験、ハンコづくりなどがありました。土日には観光ツアーも組まれており、香港の名所を回ることもできました。それ以外の時間は、買い物に行ったり観光したりしました。このプログラムで特に印象に残っているのはこの自由時間です。香港の人たちとの交流は、香港の文化に触れる一番の機会となりました。また、自分たちで調べて行動しなければならなかったのが、行動力をつけることができたと思います。



参加してよかったこと

私がこのプログラムに参加したときは、「逃亡犯条例」をめぐる香港全土でデモが行われている時期でした。様々な人の助けによって安全に留学ができていることに気づいたのはもちろんですが、外国に飛び出すことで、世界で起きていることを肌で感じることができました。まず香港の国民の政治への姿勢が日本のものとは違うことに気づきました。特に学生



が自分の意見を持ち積極的に行動に移していることが特に印象に残っています。このデモの背景を調べることによって、今起きている様々な問題の裏には複雑な歴史があるということに改めて気づかされました。留学に行くことの利点は異文化を体験することですが、日本にとどまっていたは見えてこない問題に気づかされることかもしれません。

このプログラムへの参加を検討している方へ

このプログラムではレベルごと分かれて授業に参加します。1年生での参加（半年間中国語を勉強した状態）だと一番初級のコースを受講することになると思います。そのコースでは中国語を一から学ぶことができ、半年間大学で学んだ内容を復習する形になります。2年生以上で基礎ができたとところで参加すると、より発展的な学習ができると思います。



香港中文大学サマースクールにはヨーロッパをはじめ様々な地域の学生、そして日本の他の大学生も参加しています。自分とは違う環境にいる人と勉強することは、とても有意義な時間になると思います。私も他大学の人と交流を深めることができました。大学生活をどのように送っているか話し合ったこと、中国語の勉強をどのようにしているか話したこと、一緒に観光したこと、たくさんの思い出を作ることができました。

中国語を勉強するだけでなく、香港の文化に触れる、他の学生との交流もできる、いろいろな経験ができる香港中文大学のプログラムをお勧めします！